

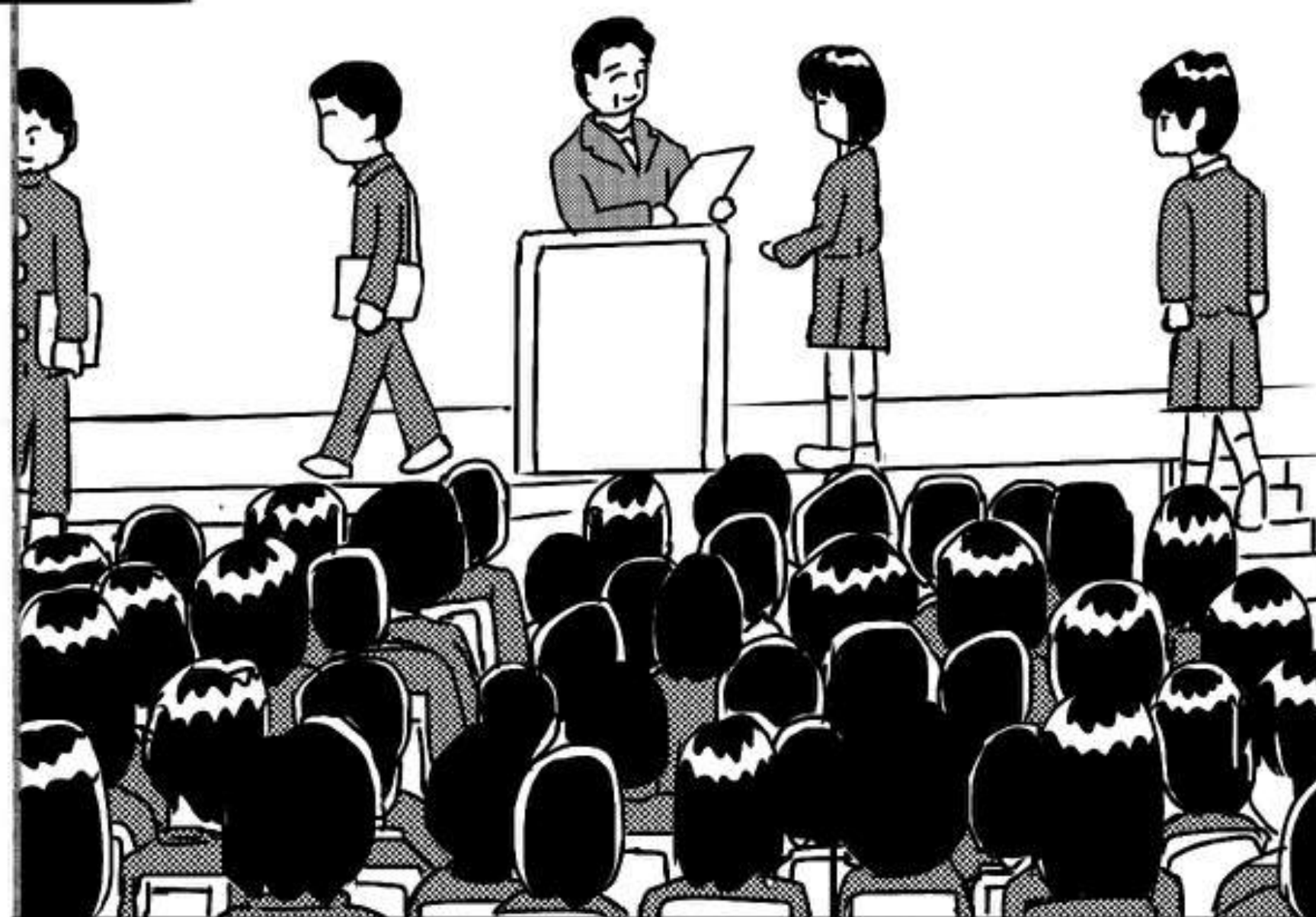
スキゾフレニックライフ

第6話 『就労/土方～大工仕事の経験』 古謝 哲也

高校の卒業式
1年遅れの
卒業ー

第六回 卒業式

復学してから、
この日まで、
色々あった。



哲ちゃん、
卒業、
おめでとう♪

おめでとう♪

Y崎君たちが
この日、来て
くれていた。

病になったのが
きっかけで
通うように
なった教会で
洗礼を受けた。

日曜日は、教会へ
通った。

神は愛

クリスチャンに
なった後も礼拝に
出席した。



闘病や試練を
乗り越えて
やっと卒業
出来て、

さっさと
就職しなさい
!!!!

ホッとして
いたが、



この当時(約20年くらい前)、
就職活動するも障害者に
仕事を紹介してくれる職場
など無く...



お前はピアノも
絵を描くのも
上手いから、
それを活かして、
保育士になれ!!

はあ~~~?!
意味分かん
ないよ?!

業を煮やした
母の勧めで、



それが嫌なら、
この家を出てけ!!!!

仕方なく、
保育士セミナー
を受講した。



とりあえず、母の
言うとおりに保育士
になるための
セミナーを
受講し始めて、
そして、

母が、新聞の求人欄
で見つけた保育園の
バイトを始めたが、
病気を抱えながら
のバイトは超ハード。
健常者で子供好き
ならともかく...



そして、もちろん
長続きする事は
なく、2週間で
このバイトはクビに。

クビになった翌日、
入院しました。2度目
の入院でした。



僕が再入院
していた頃、

時代は80年代後半、
バブル期の始まり。
好景気に沸いていた。



皆がそれぞれ、就職
したり、専門学校や
大学に進学する中で、
僕にその恩恵は無く、

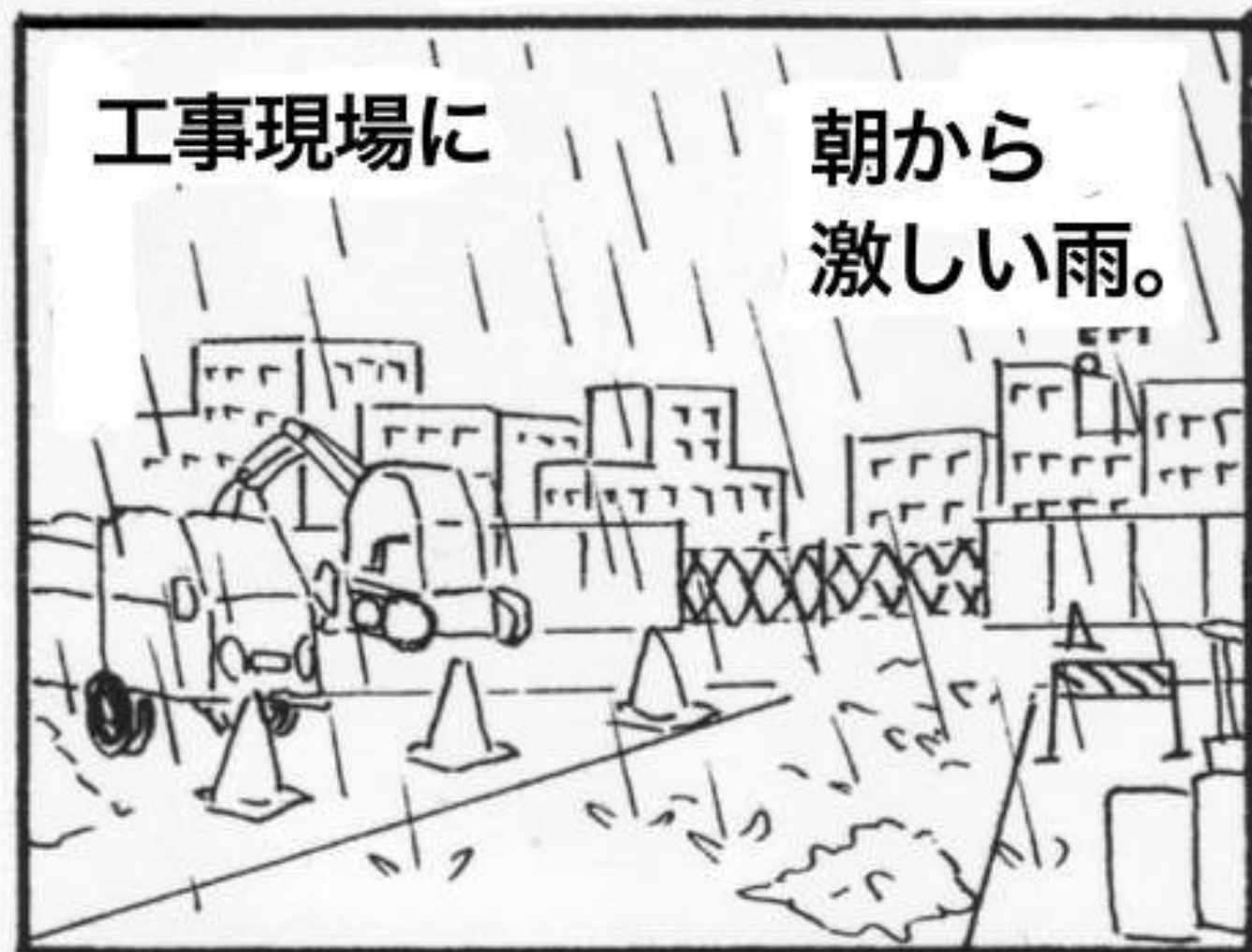
東京証券
取引所



退院後は
土方をして
いた親戚が
雇って
くれた。

働けて
嬉しかった。

その
土方の
社長



工事現場に

朝から
激しい雨。



雨の日の
朝は社長から
電話があって、

今日は
雨で
仕事は
中止
だからね。

病気の症状と
薬の副作用の
ため、
体調不良で
休みが多く、
そんな日は、



今日は
欠勤します

と、
社長に
電話。

月に1度の
給料日が
嬉しかった。



お疲れ
さん。
(社長)



僕がやっと
働くようになり、
母は数年ぶりに
内地へ出稼ぎに
行った。



GW(連休)は、ビーチ
で、土方の社長や
仕事仲間達と
BBQを楽しんだ。



病院の主治医は
K原千賀子先生に
なっていた。



この土方
(公共工事)
の期間は
7か月。



街は、
綺麗に
完成し、
工事は
終了。



あー♪
この半年以上
しんどかった
工事がやっと
終わったー♪



ホッ

解放されて、
安心してたら…、

工事終了の翌月に
母が一時的に沖縄
に帰ってきた…。



1989年暮れ
受診日で、

息子を私の職場
に連れて行って
一緒に働かせた
いんですが…

内地で?!ダメです!
沖縄以上のストレス
ですよ!内地は!!

え?!
じゃあ、

出稼ぎから
一時帰省
した母が、

じゃー、
哲也君が
向こうで
調子を
崩した
場合は、

お母さんが
責任を取っ
て下さいよ!!

しかし、主治医
の猛反対を、

母が押し切る
カタチで…

1990年1月—

病気を隠して母の勤める現場とは別の
職場で働く事になったものの、健常者と
同じペースで働くことが出来ず…

もっと機敏に
早く動きな
さい!!

仕事も
早く
覚えて!!

使えん
奴っちなー!!

紡績
工場の
機械

この紡績工場で働き始めて間もない頃、
勤務を終えて社内売店で買い物をして
いる時…

古謝さん、
お疲れさま
でーす♪

ど、どうも。

古謝さん、何年
生まれですか?

え…っと、平成
…じゃなかった、

昭和44年
生まれです。

(この時、平成2年。)

あ、じゃあ、私の
1つ上だ♪

平成
だっー♪

こんな感じでガールフレンドも出来ました。

紡績会社の寮
に住みながら…

病気を隠し続けて働くも、その症状による体調不良
と薬の副作用による体調不良で欠勤も多く不眠も
続いた。(ストレスも重なり…)

ね、眠れない…

ちゃんと眠剤
飲んだのに…

心身ともに限界
を感じたある日、

その朝、出勤
したものの…

休憩室で

若い奴は
こういうのが多い
から困るよな!!

あのう…主任さん、
早退していいですか？

今度は何や～?!

君、欠勤が
多いぞ!!

甘えるな!!

仕事をよく
休むのは
君の性格
だよ!

—こんな感じで集中攻撃—

で、とうとう
自分の病気を
告白。

何イ～～?!
病気～～?!

数日後—
事情を知らない
女子工員たち。

なんで古謝さん
をやめさせたん
ですかー?

一体、どこ
が悪いん
ですかー?

結局、2ヶ月半
働いてクビ。
沖縄へ帰った。

傷心で沖縄に
帰った後、
主治医の先生が、

無理なくて
良いからね。

哲也君は別
に悪くないよ。

…と励まして
下さいました。

傷心で沖縄に
帰った。でも、
教会の人達は
優しかった。

大変だったね。
体を大事にね。

その後も
日曜日は
教会に通った。

その教会のT牧師
は当時、二つの
教会を掛け持ち
していた。

T牧師は、日曜日の
午前中は、
M原バプテスト教会、
午後は僕が通う
V塚バプテスト教会
の礼拝で説教の奉仕。

M原バプテスト教会

V塚バプテスト教会

世陽バプテスト

超多忙に
なった
T牧師。

そこで、V塚教会の
後任牧師として、

L川先生が
V塚教会の
主任牧師に就任。

後々、この若い
牧師先生ご家族には、
とてもお世話に
なっていく。





母に、
「せめて、
日雇い労働
に行きなさい」
と言われて、

米軍基地
で、初めて
日雇い労働
に参加を
した。



新築した米兵の寄宿舍、
その一部屋一部屋に
ベッドのマットと部品を
運んで、



ベッドを
組み立てる
作業。



この仕事を
2日間経験
した。



働いた
人達に
日当が
支払わ
れた。

お疲れ
さん
(業者)

日当が
1万円の
この仕事
が2日間
あった。

2日間で
計・2万円
でした。

この日の朝も、日雇いのために
いつものように立ちんぼを
してたら、雇い主が来て、

協力、
お願い
しまーす。

建築現場
で、
解体作業。

次の日は、
大工仕事。

おーい、
こっちにも
桢板を持って
来てくれ!!

この仕事
を終えた
後で、

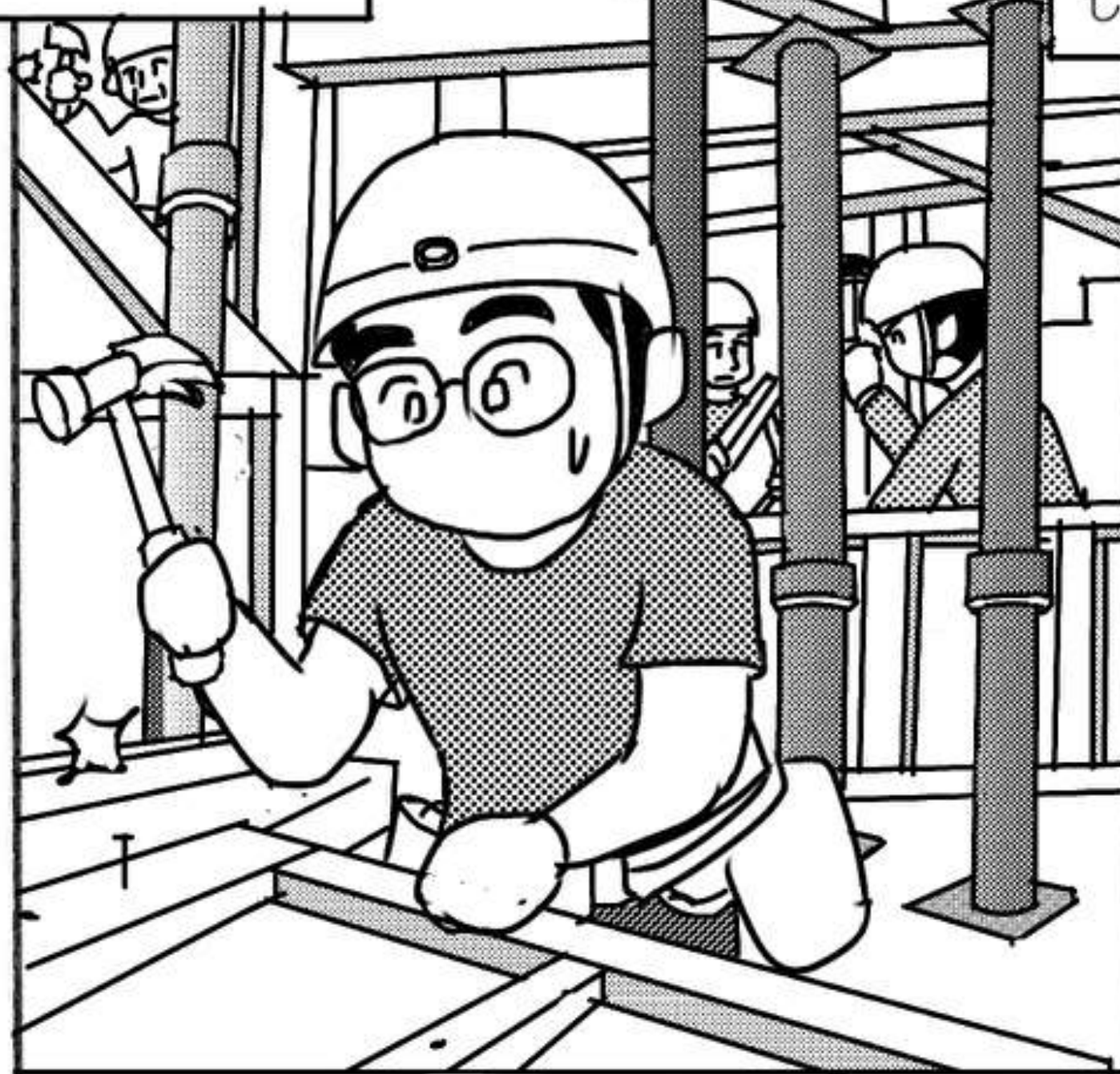
棟梁

古謝、
明日からも
ウチで
働いてくれ。

え？

頑張りが認め
られて、採用
されました。

大工の棟梁に
雇われて、
働き続けた。



ひと月半後、
カミングアウト
したが、

哲也が
心の病気
？



へえ、とても
そんな風には、
見えんけどな。

でもまあ、
今後も続けて
働いてくれ。

病気と知っても
差別しない
棟梁だった。



その棟梁に感謝しながら、数力所の建設現場で働き続けた。

米軍基地での
建設工事
終了後も、

マンション
建築。

学校校舎の
建築、

地元TV局の
建物の建築も
手伝った。



仕事も
幾つか
覚えたが、

この仕事を
続けたいと
思いつつも、

病気という
ハンディのため、
フィジカル面で
限界を感じ…、

1年目に
この大工の
仕事をやめた。

